

日本列島縦断の大型台風、17日夜、わがやの辺りも避難勧告が出た。無事通過して、今治の人は口々に言う、「石鎚追山か守る」

該書一 二

① すごいトヨリBOOK 池内紀
毎日新聞出版

表に“人生の楽しみは70歳からの「下り坂」”
あり。ドイツ文学者の樂しく老いる極意”と
ある。「下り坂」を痛感しているが、はじめて
遭うことに戸惑う、落ちこむ。その「下り坂」に
こそ、これまで”とは違う楽しみかーあと、珈琲を飲みながら、隣りで”池内センセイが
語りかけてくれるような本。一気に読みだ
また何度も開けている。これまでどう生きて
きたか”ことか”老い方を決めるのかも！
しない。老いは誰にもやってくる。そして終わり
の日も。私は覚悟ができてない。

● 関う文豪とナチス・ドイツ
トマス・マンの亡命日記 池内紀著
中公新書

トマスマン、ドイツの文豪、「魔の山」、端正な顔と浮かんでも、私は作品を読んだことになり。あのナチスの時代の人、独裁者に批判的なマンは、身一つで国外に追放され、主にアーリカを拠点に、ヒトラー打倒を訴え続けた、といふことも知らなかった。全10巻に及ぶ「長大なマンの日記」に沿つて、著者は時代を検証し、闘うマンの姿を冷静静に伝えてくれる。大変な仕事だったと思う。ナチス・ドイツと北東ヨーロッパを描く……。

● 米原万里を語る 井上ゆり 小森陽一
井上ひさし、吉岡のが、金平茂紀
か、もか、わ、主版
ロシア語会議通訳、エッセイストの万里さん、才能
豊かで、人が60歳を待たず亡くなった。そして、
多くの人の中で、今も生き続けています。井上ひさしさんの
ゆりさんは万里さんの妹だつて。

ちくわのネギ焼き 散歩のときひとさんか教えてくれてさっそく作りました。

(2人) ちくわ 5~6本 — 小口切り かんたん
 青ねぎ 2本 — 小口切り 意外なおいしいさ
 長ねじ 200g — すりあつぎ
 片切り粉 大さじ 1杯 } ストーンでよくませ
 塩 小さじ $\frac{1}{3}$ } チクワ、ネギもませ
 フライパンに多目的油を
 热し、流れ入れ中火で
 両面焼く。木の酢で
 適当にかけとります。

チクワを2本にすると
 長ねじは大根を手
 のようだ。これもおいしい。
 2回に分けて焼いた。

9/14 4ヶ領山神平

ひとりこと
交わしただけ
なのに

今まで山
4ヶ領を含めた
一番すばらしい
女性ね

うん
品のある人

シヤツ・山ガール風でもなく
完全装備の年配者風でも
なくふつつの服装。

どうぞくらり、左シクの
こんいちわ
早さすね

下り道で会った女性

ママコノシリヌクワイ 龍神平ひ
子とものいろ エガおしえて ニンシリ群がう?
淡い花の名、 小川のふらひ
紅色の花がよく見た花 味ひ
集まるよ
子どものお尻を
ぬぐうたど、考えたたけで
指すじか 寒くなるような
言葉で、植物の名には
もつとも残酷なもので
あります。

喜国では
嫁の
尾拭き草
(ウイキ10代に
よる)

GOKIさんは
こっちの名の
方がヒドい。

するとい
トケーか
逆方向に
一面にはえりは

野ハンドフラグ

けやき通信 2017.9月 No.291

—錦織佳代子—

山の上の 白い月

